



芦安中学校だより

第 15 号

校長 大石 浩雄

2025. 1. 10

☆2025年 本年もよろしくお願ひします

新年あけましておめでとうございます。2025年が皆様にとって良い年となることを心より願っております。本年もよろしくお願ひいたします。

さて、新型コロナウイルスの影響が次第に過去のものとなり、新しく動き出した社会は、以前にも増して変化が激しく、また多様な価値観が入り混じった複雑なものとなってきているように感じています。こうした状況を受け、我々学校教育の現場で働く者にとっても社会の変化に対応していくことが求められており、課題は山積していると言えます。とは言え、眼前の問題ばかりに意識を奪われ、学校教育としての根幹「生きる力の育成」を見失っては本末転倒です。年始にあたり、この「生きる力」について今一度確認をして芦安中の教育を進めていきたいと思っております。どうぞ皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。



参考:「生きる力」について

- ・何を理解しているか、何ができるか(生きて働く「知識・技能」の習得)
- ・理解していること・できることをどう使うか(未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成)
- ・どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか

(学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養)

上の三つのことを柱として、学校教育の各場面(教科の授業、特別活動、行事等)において必要とされる力のこと。将来、生徒が社会に出ていった時に困らないようにするための総合的な能力・基礎的な能力だとイメージしてもらえるとよいかと思ひます。

☆充実した1年にするために

1年のスタートであり、同時に現在の学年の締めくりとなる3学期のスタートでもあります。2025年を充実したものにするために、そして現在の学年が充実したものだったと言えるようにするためにいくつかポイントになるようなことをあげてみました。3学期を過ごす上でお子様へのアドバイスの参考にしてください。

①何事にも興味・関心を持つ

自分の好きなことは、誰もが詳しくなります。ならば、生活のいろいろなことに興味関心を持てば自ずと色々なことに詳しくなれ、よい方法なども見つけやすくなり、生活が充実することにつながります。

②主体性を持つ

誰かに言われたことだけをしているのは、自分で考えなくてもよい、責任も持たなくてよいので気楽ではありますが気分的にはつまらないことが多いかもしれません。生活を楽しいものにしていくためにも、誰かが変えてくれるのを待つのではなく、どうすれば楽しいものになるのかを考え、自分から行動に移していけるといいでしょう。

③継続をする

新年となって何か目標を設定したと思ひます。その目標を達成するために自分がしなければいけないことをしっかりと継続しましょう。これまでも何度か校長の話として生徒にも伝えてきましたが、「継続する力」は、自分の能力を確実に伸ばしてくれます。また、社会に出てからも「継続する力」が必要になります。



生徒一人一人が心のスタートボタンを押して新しい気持ちで3学期を過ごせるようにご支援をお願ひいたします。

時間が少し戻って 2 学期末の様子です

☆令和 6 年度第 2 回生徒総会

12 月 13 日 (金) に令和 6 年度第 2 回生徒総会が行われました。今回の生徒総会はいくまでの生徒会活動を振り返り、成果と課題を確認して新生徒会へ引継ぐための会でした。令和 6 年度の生徒会活動は「Step up」のスローガンのもと、「積極性」「協力」「継続」を活動の柱として行ってきました。話し合いの中では個人として、委員会として、部活動としてなどいろいろな角度から成果と課題が出されました。

現在の生徒会の活動は、これでおおよそ終わり、3 学期からは新生徒会が中心となります。自分たちの学校生活を自分たちで見つめ、改善していくことを忘れず、自治の力を高めることができる活動にしていってくださることを期待しています。



こうした場での会長の話も最後ですね

☆生徒会企画のクリスマス会

12 月 17 日 (火) の 6 校時に令和 6 年度生徒会の最後の企画となるクリスマス会が行われました。全校のみんなが楽しみながら交流を深められるようにと生徒会本部がミニゲームを考えたり、プレゼントを用意してくれたりしていました。生徒会の進行で○×ゲームやお絵かきゲーム、オンリーワンゲームなどをしていくと、芦安中の誰かの新しい一面をちょっと知ることができたり、普段あまり話をしない人と話をしたりといった場面がどんどん増えていき、会の一番の目的がしっかりと達成していました。



「パソコンをする猿」というテーマで絵を描く画伯！



プレゼントをもらって笑顔

☆終業式と表彰披露

12 月 23 日 (月) に 2 学期の終業式と表彰披露を行いました。終業式では、2 学期を振り返って 2 名の生徒が発表してくれました。1 年生の田中さんは、相手のことと自分のことを考えながら会話をする中で関係性が良い方向に進められたこと、2 年生の笠井さんは、行事を通して多くの人との関わりが生まれたことや自分の行動が良い方向に変化してきたことを発表してくれました。どちらの生徒の話も自分の姿とその変化に目を向けることができた発表で良い内容でした。

終業式に続いて、教育祭小中学校図工・美術作品展で入賞した生徒の表彰披露を行いました。美術の授業の中で取り組んだ作品が対象となるこの作品展では、以下の生徒が入賞いたしました。おめでとうございます。



県特選	3 年:堀内 拓弥さん、2 年:原田 暖乃香さん、1 年:根本 颯月さん
中巨摩特選	2 年:笠井 優さん、1 年:小林 花栄さん

☆これからの部活動について

近年、生徒数の減少により、多くの学校において多様な部活動を維持していくことが厳しい状況があります。芦安中学校でもバドミントン部と文化部の 2 つを設置していますが、やはり生徒に多様で充実した活動を保証するという点については厳しい状況です。こうした問題への対応のひとつとして、学校の枠にとられない合同チームや地域クラブ・民間クラブの設置、クラブチームの大会参加といったことが進められています。芦安中学校においても、学校で設置している 2 つの部活動以外に学校外クラブ (スイミングやサッカー、野球等) での活動を部活動に代わる活動として認めていくことを確認しております。放課後の活動について、「小学生の頃やっていた活動を中学校でも続けたいが部活がないために継続できない」といったことができるだけ発生しないように、学校としてもできるだけ柔軟に対応していきたいと考えております。もし、今後こうした要望がある場合は、学校にご相談ください。